

3学年保護者様

福岡市立高宮中学校
校長 知念 透

全国学力・学習状況調査3学年結果について（お知らせ）

街路樹の銀杏が実をつけ秋を感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこと存じます。また、日頃から本校学校教育にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、本年4月に実施されました全国学力・学習状況調査結果が福岡市教育委員会から届きましたので結果と分析いたしました内容についてお知らせいたします。今回の分析結果につきましては、今後の進路に向け各ご家庭でもご活用いただきますようよろしくお願いいたします。

【試験科目及び試験内容】

国語A・数学A	…	基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題
国語B・数学B	…	基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

【分析結果】

国語A ……全国標準と比べて上回っている

国語B ……全国標準と比べて上回っている

＜課題としてあげられた内容＞

- ・伝えたい事実や事柄について、根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味する点に、課題がある。
- ・見通しをもって必要な情報を集める際に、集める内容を構想することはできているが、その情報が必要であると考える理由を明確にする点に課題がある。
- ・相手の反応を踏まえながら話すことや、相手に分かりやすい語句を選択して話すことに課題がある。
- ・根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに依然として課題がある。
- ・書く目的を意識し、必要な情報を集めるための見通しをもつことに課題がある。
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについて課題がある

数学A ……全国標準と比べて上回っている

数学B ……全国標準と比べて上回っている

＜課題としてあげられた内容＞

- ・多角形の内角の和の求め方の理解、二元一次方程式と一次関数のグラフの関係の理解、相対度数を求めることについて、改善の傾向がみられる。
- ・記述式問題のうち、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。また、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- ・錯角の意味の理解について課題がある。
- ・2つの図形の間接関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することに課題がある
- ・具体的な事象における2つの数量の変化や対応をグラフから読み取ることに課題がある。
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

【記述式問題】

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の設問では、福岡市の平均から2ポイント上回っているものの、全国平均から2ポイント下回っており、およそ5割の生徒は計画的な家庭学習に課題がある。
- ・「自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している」の設問では、福岡市の平均から2ポイント上回っているものの、全国平均から2ポイント下回っており、生徒のおよそ4割が、授業等で自分の考えを工夫して伝えることに課題がある。

【課題解決に向けて学校での取り組み】

- ・チャレンジタイム（朝の10分間の学習時間：国・数・社・理・英の5教科で実施）で、課題のあった単元の基礎・基本問題の反復学習を繰り返し行い、応用問題の基礎となる学力の定着を図る。
- ・構成的エンカウンターの手法を取り入れ特別活動等で活用している4人班（男女2名づつ）を各教科の授業でも積極的に活用し、生徒個々の考えや意見を発表しあい、確認しあったり、吟味しあったりする活動を、単元の中に効果的、連続的に位置づけ、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表できるよう教科での取り組みを進める。
- ・週末課題などの計画的な取り組みを推進する。